

令和7年度 兵庫県立夢野台高等学校 学校評価 保護者アンケート集計結果

次の各項目について、A～Eのあてはまるものを評価の欄に記入してください。

A：そう思う B：ややそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない E：わからない

実施日 令和7年12月		4点満点 ※評価点は、A4点、B3点、C2点、D1点の平均点										R 7年度										R 6年度									
		評価 A		評価 B		評価 C		評価 D		評価 E		評価点	評価 A		評価 B		評価 C		評価 D		評価 E		評価点								
番号	設問内容	評価 A	評価 B	評価 C	評価 D	評価 E	評価点	評価 A	評価 B	評価 C	評価 D	評価 E	評価点	評価 A	評価 B	評価 C	評価 D	評価 E	評価点	評価 A	評価 B	評価 C	評価 D	評価 E	評価点						
1	お子様は、充実した学校生活を過ごしている。	175	48%	162	45%	15	4%	6	2%	6	2%	3.4	167	51%	130	40%	20	6%	9	3%	2	1%	3.4								
2	お子様は、学校や友だちについて家庭でよく話をする。	145	40%	146	40%	46	13%	26	7%	1	0%	3.1	133	41%	126	38%	49	15%	19	6%	1	0%	3.1								
3	学校は、HPを活用し教育方針、重点目標、行事や部活動の様子等をタイムリーに発信している。	74	20%	174	48%	64	18%	9	2%	43	12%	3.0	53	16%	155	47%	76	23%	16	5%	28	9%	2.8								
4	お子様は、社会や学校のルール・マナーを守り、規則正しい生活を送っている。	202	56%	134	37%	20	6%	2	1%	5	1%	3.5	173	53%	136	41%	12	4%	6	2%	1	0%	3.5								
5	保健室・キャンパスカウンセリングなど、悩み事を相談できる体制が整っている。または、親身になって相談に乗ってくれる先生がいる。	69	19%	145	40%	43	12%	13	4%	94	26%	3.0	60	18%	128	39%	44	13%	15	5%	81	25%	2.9								
6	学校は、進路に関する適切な情報を適切に提供している。	80	22%	149	41%	63	17%	9	2%	63	17%	3.0	71	22%	144	44%	49	15%	13	4%	49	15%	3.0								
7	学校は、個々の生徒の進路希望に応じて、きめ細かい進路指導を行っている。	71	20%	121	33%	66	18%	15	4%	91	25%	2.9	60	18%	115	35%	64	20%	15	5%	74	23%	2.9								
8	学校は、生徒の学習状況の把握に努め、きめ細かい学習指導を行っている。	52	14%	133	37%	72	20%	17	5%	89	25%	2.8	42	13%	140	43%	65	20%	21	6%	60	18%	2.8								
9	学校は、ICT機器を適切に活用するなど、授業を工夫し、質の高い学習指導を行っている。	50	14%	137	38%	41	11%	8	2%	128	35%	3.0	40	12%	147	45%	40	12%	14	4%	87	27%	2.9								
10	学校は、自主的な学習に取り組みやすい学習環境を整えている。	60	16%	148	41%	62	17%	12	3%	82	23%	2.9	57	17%	141	43%	55	17%	19	6%	55	17%	2.9								
11	学校は、自然災害や感染症流行等の不測の事態に備え、緊急時に対応できる体制を整えている。	52	14%	127	35%	38	10%	5	1%	141	39%	3.0	35	11%	118	36%	32	10%	15	5%	127	39%	2.9								
12	学校は、生徒の健康や安全に関わる指導を適切に行っている。	65	18%	154	43%	40	11%	6	2%	97	27%	3.0	61	19%	139	43%	28	9%	13	4%	86	26%	3.0								
13	学校は、校内の環境美化や整理整頓に努めている。	84	23%	172	47%	38	10%	7	2%	63	17%	3.1	74	23%	161	49%	20	6%	3	1%	70	21%	3.2								
14	学校は、学校行事において生徒の自主性を高められるよう工夫している。	109	30%	179	49%	33	9%	6	2%	37	10%	3.2	107	33%	152	46%	23	7%	8	2%	38	12%	3.2								
15	学校は、いじめ防止に向けた取組を積極的に行っている。	45	12%	119	33%	31	9%	5	1%	164	45%	3.0	39	12%	114	35%	24	7%	10	3%	141	43%	3.0								
16	学校は、教育活動の特色を積極的に外部に向けて発信している。	65	18%	143	39%	50	14%	10	3%	96	26%	3.0	41	13%	135	41%	51	16%	19	6%	82	25%	2.8								
17	学校では、部活動が活発に行われている。	184	51%	141	39%	17	5%	3	1%	19	5%	3.5	150	46%	143	44%	16	5%	6	2%	13	4%	3.4								



# 令和7年度学校評価シート（自己評価＜教職員＞）

兵庫県立夢野台高等学校

次の各実践目標（具体的な実施内容）について、A B C Dの評価を記入して下さい。

（A：よくできた B：ややできた C：あまりできなかった D：全くできなかった）※評価点は、A4点、B3点、C2点、D1点の平均点

領域	評価の観点	No	評価項目（重点目標）	実践目標（具体的な実施内容）	R7	R6	
学 校	開かれた学校づくり	1	家庭や地域への情報発信	①ホームページを活用し、本校の教育方針、重点目標、行事や部活動の様子等をタイムリーに保護者や地域に発信する。	3.5	3.3	
				②自然災害や不測の事態等、緊急事態に対応できる情報発信手段を充実させる。	3.1	3.1	
		2	地域や関係機関と連携した学校づくり	オープン・ハイスクール、学校説明会等を通じて、中学生やその保護者へ情報を発信し理解を深めるなど、広報活動に取り組む。	3.8	3.4	
		生徒指導方針の確認と指導体制の推進	3	生徒の内面の理解を図る指導の工夫	基本的な生活習慣の確立のため欠席・遅刻・早退の数を減らすことを目指し、規範意識及び自己管理意識を身につけるため、服装・頭髪、登下校、携帯電話、自転車のマナー指導を徹底する。	2.9	3.3
					キャンパスカウンセラーによる研修を実施し、生徒の内面理解のための指導法の共有化を図るとともに、全教職員で組織的に取り組む。	3.5	3.5
	進路指導	4	進路指導体制の充実	①進路指導研修会を開催するとともに、職員会議での情報提供を行い、個に応じた指導の確立を目指す。	3.3	3.3	
				②進路指導部の年間計画に沿って、キャリア教育充実の観点から、就職説明会、公務員説明会、医療看護系説明会、推薦入試・共通テスト説明会、大学説明会等を実施する。	3.6	3.3	
		5	外部講師の活用・高大連携	卒業生による講演や、大学説明会を校内で実施し、生徒の大学に対する興味関心を高める。また、高大連携に力を入れ、神戸大学・兵庫教育大学・関西学院大学・武庫川女子大学等との連携を深める。	3.6	3.3	
	教職員の資質の向上	6	計画的を持った研修の実施	公開授業期間に、各教科毎の授業公開を行い、教員間の意見交換と研修の場を設定し、組織的に指導力の充実を図る。	2.8	3.2	
	管	危機管理体制の整備	7	家庭・地域・関係機関と連携した危機管理体制の推進	①危機管理マニュアルの内容を整理し、その内容を実践できる訓練・研修を行う。	3.2	3.1
					②自然災害や感染症流行等の不測の事態に備え、緊急時に対応できる体制の整備を図る。	3.2	3.0
8		個人情報の保護	成績、家庭情報、健康、生徒指導記録などの各種個人情報の管理体制を強化し、適切に管理する。	3.3	3.4		
学校運営全般	9	専門部の運営と学年・学級の経営	学校教育目標達成に向けた各部および学年・学級の具体的な方針を立て、生徒の自主性を高める指導に努力する。	3.2	3.4		
	10	学校いじめ防止基本方針	いじめの未然防止、早期発見・早期対応を行う。	3.4	3.5		
	P T C A活動	11	P T C Aとの連携	学校保健安全委員会、保護者会を実施し、進路指導部による入試結果等の進路情報の提供および学年からの指導方針の提示などを行う。	3.3	3.3	
教 育 課	自ら学び自ら考える力の育成	12	生涯学習の視点に立った実践能力の育成	生徒の多様な進路希望に対応する選択科目設定の工夫と、各教科による豊かな人間関係形成力の育成など、生涯の基礎となる興味関心に応じた特色ある教育課程を編成する。	3.1	3.2	
	基礎・基本の定着	13	生徒の学力の把握と評価に関する創意工夫	観点別評価の方法について研究し、評価規準を設定し、知識・技能のみに偏らない評価方法の実践を図っていく。また、生徒による授業評価を推進する。	3.0	3.3	
	教科「教育・心理」「教職」の充実	14	教科「教育・心理」のプログラムの充実と学校全体での取り組みの推進	類型設置を踏まえ、「教育・心理入門」・「教育・心理実践」・「教育・心理探究」の更なる充実を図り、全教職員での取り組みを推進する。	3.4	3.4	
	総合的な学習(探究)の時間	15	創意工夫を生かした実践の展開	探究のサイクルを通じて、探究学習の手法を身につけながら、身近な課題に主体的に取り組む意欲と資質を育む。	3.3	3.1	
	特別活動(学校行事など)	16	学校行事の精選と行事内容の充実	学校行事を精選し、内容を充実させることで、生徒の意欲を引き出す。	3.4	3.4	
		17	ボランティア活動	ボランティア活動の推進を図り、その重要性への意識を高める。	2.9	2.7	
課 題 教 育	人権教育	18	人権意識の育成	身近な問題から人権の歴史・社会的問題等について、生徒が自ら考え自他の人権を守る態度を育て、人権HRの実施に取り組む。	3.3	3.2	
	情報教育	19	情報モラルの育成	人権尊重を基盤として、プライバシーの保護や著作権の尊重等の重要性、ネットワーク上での安全な行動について考えさせ、情報リテラシーの確立を図る。	3.4	3.2	
	国際理解教育	20	交流事業の推進	A L Tを授業で最大限活用するとともに、授業以外にも積極的に活用し、A L Tを囲んで生徒との交流を図るなかで、コミュニケーション能力を育成し、異文化理解を深める。	3.4	3.3	
	環境福祉教育	21	障がいのある人などへの理解を深める指導の推進	高校生地域貢献事業において、特別支援学校を訪問するなど、交流を通して理解を深める。	3.4	3.3	